

看護の統合と実践

目標 I 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1 看護におけるマネジメント	A. 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護マネジメントの目的とプロセス	統合と実践①マネジメント 序章-I-1 マネジメントの役割 (P4), II 看護におけるマネジメントとは (P8), <別巻>管理・研究・制度 1章-I 管理とは何か (P2)	112-AM-72 111-AM-72 110-AM-70
		看護組織の構成と職務	<別巻>管理・研究・制度 1章-III 看護部門の基本的成り立ち (P12)	
		看護行政の動向と看護マネジメント	<別巻>管理・研究・制度 3章-II 看護制度・看護行政と看護活動 (P133)	
	B. 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	医療・看護の質保証と評価	基礎看護学① 4章-I 看護の役割と機能の理解 (P110), 統合と実践① マネジメント 3編-2章-II-1 クリニカルパスとは (P88)	112-AM-90
		医療・看護の標準化 (標準看護計画、クリニカルパス)	統合と実践①マネジメント 3編-2章-II クリニカルパスの役割 (P88)	112-AM-89▲ 111-AM-73, PM-74
	C. 看護業務のマネジメント	看護業務基準、看護手順	<別巻>管理・研究・制度 1章-IV-B 業務管理 (P21)	
		看護提供システム	基礎看護学① 4章-I 看護の役割と機能の理解 (P110), 統合と実践①マネジメント 3編-1章-II-A 看護ケア提供システム (P78)	111-PM-73
		複数の看護業務が同時に発生した場合の判断や対処方法	統合と実践①マネジメント 1編-2章 多重課題への対処 (P29)	110-AM-68
	D. 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	医療・看護業務に関する情報の活用と保管	統合と実践①マネジメント 4編-2章-IV 医療情報の取り扱い方 (P125), 5編-1章-I-B 患者を取り巻く医療の変化と地域包括ケアシステム (P146)	108-PM-70
		診療記録等の電子化と医療情報システム	統合と実践①マネジメント 4編-2章-III 医療情報の電子化 (P123)	
	E. 医療安全を維持する仕組みと対策	安全管理体制整備、医療安全文化の醸成 頻出	統合と実践①医療安全 1章-I-C 医療安全の管理 (P165)	112-PM-69, 70 110-AM-69 109-PM-74 108-PM-71
		医療事故・インシデントレポートの分析と活用	統合と実践①マネジメント 3章 医療安全のマネジメント (P131)	109-AM-34▲ 108-AM-76
F. 看護師の働き方のマネジメント 108-PM-69	看護師等の労働安全衛生	関係法規 9章-B 労働安全衛生法 (P200)	112-AM-73	
	看護の交代勤務	基礎看護学① 4章-II 看護活動がもつ機能 (P157)		
	ワーク・ライフ・バランスを促進する働き方	成人①成人概論 2章-II-C-2 仕事と生活の調和 (ワークライフバランス) (P57)		

目標Ⅱ

災害看護の基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2 災害と看護	A. 災害時の医療を支えるしくみ	災害に関する法と制度	関係法規 1章-IV 災害と医療 (P17), 統合と実践②災害看護学 1章-III 災害と法制度 (P17), 4章-I-C-2 社会資源の活用 (P124)	111-PM-75 109-AM-74
		災害時の医療体制	統合と実践②災害看護学 1章-IV 災害時の支援体制, 医療体制 (P24)	112-PM-71 109-AM-64
	B. 災害各期の特徴と看護 110-PM-71 108-AM-78	災害各期の特徴	統合と実践②災害看護学 2章-I 超急性期・急性期の医療ニーズ (P48), 3章-I 亜急性期の医療ニーズ (P96), 4章-I 慢性期の医療・福祉ニーズ (P112), 7章-I-1 被災者の心理の変化 (P184), IV 被災地内支援者のメンタルヘルス (P194)	111-PM-115
		災害時の被災者・支援者の身体反応と心理過程	統合と実践②災害看護学 2章-I 超急性期・急性期の医療ニーズ (P48), 3章-I 亜急性期の医療ニーズ (P96), 4章-I 慢性期の医療・福祉ニーズ (P112), 7章-I-1 被災者の心理の変化 (P184), IV 被災地内支援者のメンタルヘルス (P194)	
	災害時に生じやすい健康被害の特徴	統合と実践②災害看護学 2章-I 超急性期・急性期の医療ニーズ (P48), 3章-I 亜急性期の医療ニーズ (P96), 4章-I 慢性期の医療・福祉ニーズ (P112), 7章-I-1 被災者の心理の変化 (P184), IV 被災地内支援者のメンタルヘルス (P194)	112-PM-118	
	災害各期における要支援者を含むすべての被災者への看護 頻出	老年看護学① 10章-II-C 災害サイクルにおける看護 (P235), 小児看護学② 4編-3章-III 災害を受けた小児と家族への看護 (P261), 統合と実践②災害看護学 2章-II-A 避難行動と看護師の役割 (P51), 6章 要配慮者への看護 (P154)	112-PM-119, 120 111-AM-75, PM-116, 117 110-AM-71 109-PM-75, 76	

目標Ⅲ

諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3 国際化と看護	A. グローバル化に伴う世界の健康目標と課題 111-PM-76	世界共通の健康目標	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330), 統合と実践③国際看護学 1章-III 共存に向けた国際協力 (P21)	110-AM-72 108-PM-73
		人間の安全保障	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330), 統合と実践③国際看護学 1章-III-D 人間の安全保障 (P28)	
		プライマリ・ヘルス・ケア	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330), 統合と実践③国際看護学 1章-III-E プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション (P30)	112-AM-74
	B. グローバルな社会における看護 111-AM-76 110-PM-72 109-AM-90	看護の対象となる人々(在留外国人、在外日本人、帰国日本人、国際協力活動を必要とする人々)の健康課題	統合と実践③国際看護学 2章 国際看護活動の支援を必要とする対象 (P41), I-C 在日外国人の増加と国内の看護活動 (P44), II 海外における看護活動 (P45), III 在日外国人への看護活動 (P54), 5章-V-B 異文化適応能力 (P152), 7章 在日外国人・訪日外国人に対する看護活動の実際 (P205)	110-AM-73 109-PM-118 108-AM-77
多様な文化を考慮した看護		統合と実践③国際看護学 4章 多文化共生と国際看護活動 (P97), 6章 国外における国際看護活動の実際 (P161)	112-PM-72 109-PM-119, 120	

目標Ⅳ

複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4 臨床実践場面における統合的な判断や対応	A. 対象や家族に切れ目のない支援を提供するための継続した看護	Aのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。	本項目には、すべての内容が該当するため、個別の箇所は示しておりません。	
	B. 複合的な状況にある対象や、複合的に提供されている看護の状況を判断し、危険を回避する取組み	Bのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。	本項目には、すべての内容が該当するため、個別の箇所は示しておりません。	
	C. 看護の提供者が、看護場面において自身の安全を確保するための総合的な判断や対応	Cのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。	本項目には、すべての内容が該当するため、個別の箇所は示しておりません。	
	D. 発災からの経過に応じて被災者に提供される診療や支援を促進するための看護	Dのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。	本項目には、すべての内容が該当するため、個別の箇所は示しておりません。	
	E. A～Dを促進するための多職種連携	Eのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。	本項目には、すべての内容が該当するため、個別の箇所は示しておりません。	110-AM-120